

たのみに なほ 介護又詩

テーマ

【お風呂】

風呂嫌いの 3年前の 冬以来

●選者・今月のテーマに寄せて

お風呂拒否のある一人暮らしの爺様。お風呂は自宅に入っていると言い張っていたけど、奥さんが亡くなってからは入っていないかったんじゃないか説。温泉なら入ってもいいと言ってくれたので露天風呂にお連れしたら、身体を洗う前に入ってしまった浴槽が垢だらけに。すみませんと手を合わせて帰ってきました。

【お風呂】小林敏志選

家族へは 大風呂敷の 施設長

—— 微女 (70代・看護師)

選者評

僕も施設長なので非常に気まずいのですが、職員さんが上司への皮肉を利かせたこの詩にしました。風呂がテーマで大風呂敷を考えるなんて頭が柔らかい。必要な時がくるまで大風呂敷は隠しておいた方がいいかもしれませんね。



いい湯だな エコーは要らぬと ノリまくり

—— ライラック (60代・介護職)

お風呂場で 三代育てた アヒルせん

—— 微女 (70代・看護師)

まあ風呂だ 一番のりだ 楽しいぞ

—— ライラック (60代・介護職)

茶をすすり おもむろに婆は 風呂へ発つ

—— 大西三等歌 (50代・介護職)

いい気分 ホカホカお風呂で 居眠りし

—— ライラック (60代・介護職)

この風呂で 垢と認知 流してや

—— つや姫 (40代・介護職)

お風呂はね 入る極楽 入れる地獄

—— 微女 (70代・看護師)

風呂好きで マッパで入る 九十六

—— ほしほじ (介護職)

ひと風呂で こぞつぱりした よかにせどん

—— 微女 (70代・看護師)

「風呂セ行くべー」 にこにこイソイソ 立つジツチャ

朝風呂に「オラは庄助」と一献所望

—— 微女 (70代・看護師)

—— おちよつ介 (弱冠 (若干) 50代・介護職)



「風呂へ行くとべ！」 必ずゴモガモ 言うジツチャ

風呂介助 「みんな違ってみんないい」…か？

—— おちよつ介 (弱冠 (若干) 50代・介護職)

—— おちよつ介 (弱冠 (若干) 50代・介護職)

風呂介助 手を振り回す ババが居て

風呂介助 最後は自分も ひとつ風呂 拘縮が 風呂で揉んだら あら伸びた

—— 藤脇聡 (40代・医師)

—— おちよつ介 (弱冠 (若干) 50代・介護職)

—— 藤脇聡 (40代・医師)

「フリー部門」小林敏志選

「死にて」の次に

「へなば (背中) かりい (痒い)」

—— でいどりいむ (当年 (十年) とって 50代・介護職)

選者評

死にたいと背中痒いが共存していて素敵です。痒くて死にたいのか 自分で背中かけなくて死にたいのか 背中かいてほしくて死にたいと先に言うのか 死にたくても背中痒くなるのか まあ、なんにせよ死にたいって言える人がそばにいてくれるっていいですね。ロボットの、「死にたい」とは言えないし言わないでしょから。



テレビつけ 寝ながらいびき 夢の中

—— ライラック (60代・介護職)

妙に色っぽい 下着を着けている バツチャ

寝ているな スイッチ切れば ワシ見てる！

—— ライラック (60代・介護職)

—— でいどりいむ (当年 (十年) とって 50代・介護職)

腰にくる 急に動いたら アテテテ

—— ライラック (60代・介護職)

なべて世の ニュースオムツの 包み紙

風呂吹ふろき大根をコンビニおでんで 間に合わず

—— 微女 (70代・看護師)

—— でいどりいむ (当年 (十年) とって 50代・介護職)

困惑と悲しみたあらの優しさ

—— 大西三等歌 (50代・介護職)

人生は 密だ素颜だ 対面だ

—— 藤脇聡 (40代・医師)

兎年 兎道の里に あやかれと

—— つや姫 (40代・介護職)

ワクチンは 危ない効かない 終わりがない

—— 藤脇聡 (40代・医師)

短冊に 願いも込めて コロナゼロ

—— つや姫 (40代・介護職)

寒空に もみち舞いて 冬の宴

—— つや姫 (40代・介護職)

コロナ禍で 夢と希望も さらわれて

—— つや姫 (40代・介護職)

小林さんには投稿者のお名前を伏せて選者していただいています。(編集部)

